



地域日本語支援ニュース こだま 第 398 号

2021.3.11



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

==== 目次 =====

1■地域の活動紹介：福島県いわき市から■

子どもたちの笑顔と成長を支えに～学校と連携したボランティア活動～  
公益財団法人いわき国際交流協会 主査 須向敏子

2■お知らせ■

オンライングループレッスン開講 (AJALT) のご案内

=====

1■地域の活動紹介：福島県いわき市から■

3月11日がめぐってきました。2011年の東日本大震災直後、いわき市では、日本人とともに被災した在住外国人への支援が、現場の大きなテーマでした。あれから10年、時は着実に進み、外国にルーツをもつ子どもたちの学校での学びが課題となる中、令和のはじめには、新しい施策が打ち出されました。今回は、市の教育委員会のサポートを得て、学校と連携しながら、子どもたちの日本語支援に当たるボランティアの活動をご紹介します。

.....

子どもたちの笑顔と成長を支えに～学校と連携したボランティア活動～

公益財団法人いわき国際交流協会  
主査 須向敏子

#### ◆いわき市の現状

いわき市には2021年1月末現在約2,900人の外国人が居住しています。その割合は約0.9%で決して多くはありません。山間部から海岸部、商業圏と広いいわき市に散在している状況で、外国にルーツをもつ子どもたちを受け入れたことのない学校がほとんどです。昨年までは国際交流協会が学校から直接要請を受けたあと、ボランティアさんの協力を得て学校における日本語支援活動を行ってきました。

#### ◆令和の新しい風

令和元年10月に状況は一変しました。いわき市は「外国人との共生社会実現に向けた『いわき版』総合的対応策」の取りまとめを行いました。背景には、人手不足を憂慮する地方都市の現状がありました。いわきを外国人からも「選ばれるまち」にしたいという方針が決定したのです。市内居住外国人を取り巻く環境や課題を整理する中で外国にルーツをもつ子どもたちの学習環境に注目が集まることとなりました。その結果令和2年度から市教育委員会（市教委）がボランティアさんの謝礼や旅費を予算化することになったのです。この活動の大切さ、これまでのボランティアさんの熱意と活動を市全体で共有することができ、早急な予算措置、ルール作りにつながったことを大変うれしく思いました。

#### ◆学校と連携したボランティア活動

令和2年度は計8名の児童生徒に対して7名のボランティアさんが指導にあたりました。学校生活を円滑に送るために必要な日本語からスタートし、教科につながる日本語を教える活動ですが、子どもたちが置かれている環境、習熟度はそれぞれ異なります。ボランティアさんたちは異国で暮らす子どもたちの微妙な心情の変化にも気を配りながら日本語学習への興味を継続させ

るための教え方を試行錯誤しています。活動内容は毎回学校側にも伝えられ、学級担任と情報の共有を図っています。友達や先生とコミュニケーションが取れるようになるのに時間がかからなくても、授業についていけるようになるには時間がかかり、教える側のボランティアさんにも忍耐が必要とされます。文字の学習にどうしたら興味を持ってもらえるか、勉強のやる気を持たせるにはどうしたらいいか、来年高校受験を目指す子どもに対して教科につながる支援をどのようにしていったらいいか、ボランティアさんの悩みはつきません。そのような時に AJALT の皆さまとも交流があり、現場の悩みを相談できて、ボランティアさんたちはまた元気に活動を続けています。

#### ◆教科につながる日本語

先日、市教委と取り決めた規定に従って 24 回目の支援日に各学校で面接を行いました。その際に子どもたちの成長ぶりをはっきりと見ることができました。併せて子どもたちのボランティアさんへの信頼の厚さや学校全体での取り組みのすばらしさを感じることができました。

それでも、子どもたちに対する日本語支援には終わりがなく課題がたくさんあります。子どもたちの学習への意欲を継続させるためには、教科につながる日本語についても教えていくことが必要であることが分かってきています。しかし、基本的な日本語が十分とは言えない中で、教科につながる日本語指導とバランスを取りながら指導していくことには悩みがつきません。ますます有効な指導方法が求められるかもしれません。

#### ◆うれしいニュース

最後になりますが、一昨年指導をした女子中学生が無事志望高校に合格したあとに寄せられた手紙があります。「学校では、クラスメイトたちの熱意ややさしさが、氷を解かすように私の緊張を解いてくれました。ボランティアの先生方がいつも私の手を握って激励してくれました、その期待に応えられて理想の高校に合格しました。助けてくれた全ての方々に心から感謝します。」子どもたちの笑顔を支えにこれからもよりよい活動にしていけたらと思っています。

公益財団法人いわき市国際交流協会 Facebook

<https://ja-jp.facebook.com/IwakiIA>

「外国人との共生社会実現に向けた『いわき版』総合的対応策」

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1570495075236/simple/20191008-3-3.pdf>

---